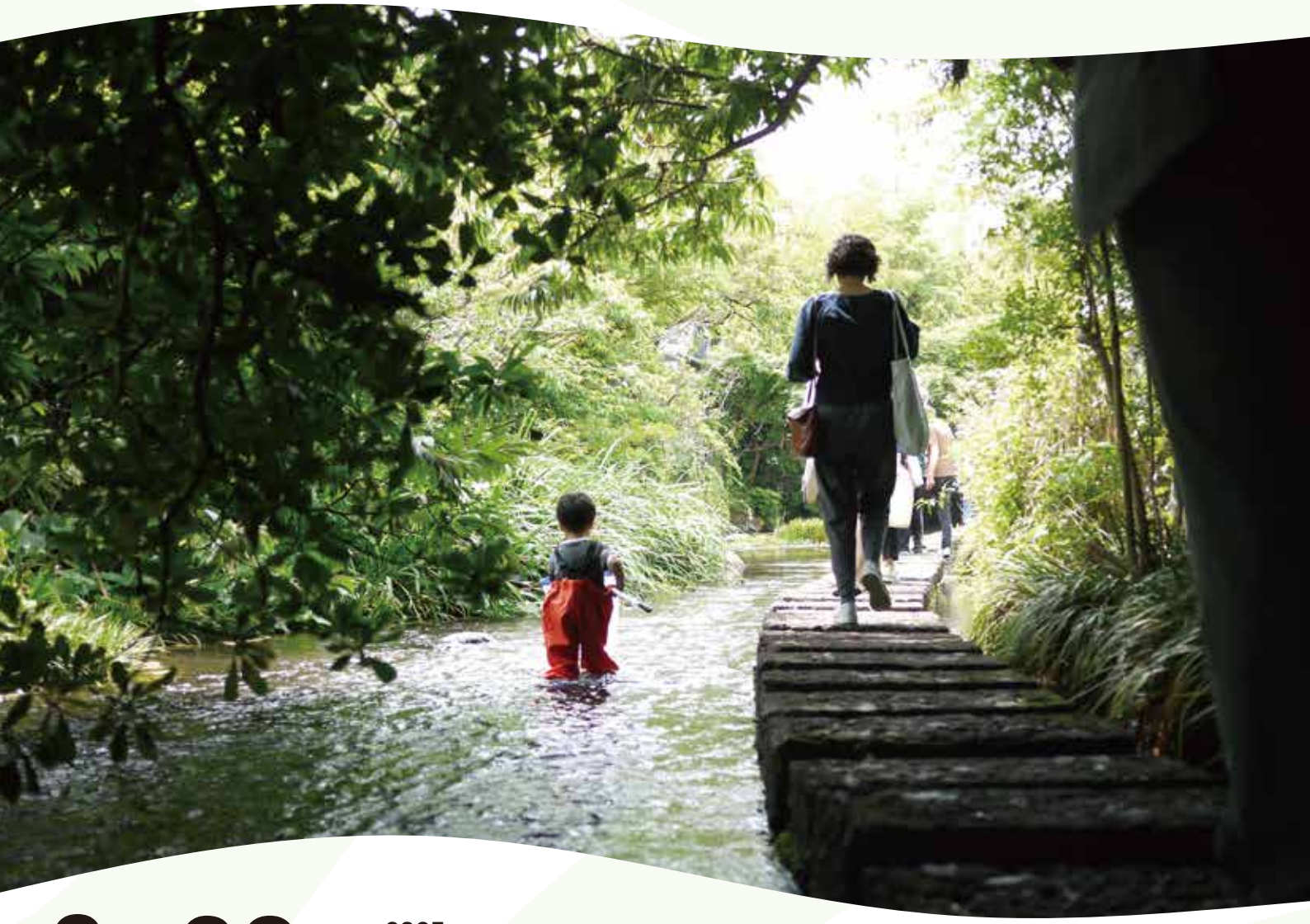
川とまちを考える会 #2

River-Town Seminar #2
Genbeigawa Stream in Mishima &
Groundwork Mishima

三島・源兵衛川の再生と活動を現地で体感する

グラウンドワーク



9月28日 2025 日

13:00–16:30

定員 20名ほど
会費 2000円

12：45　JR 三島駅南口改札・集合
↓ 移動
13：00　グラウンドワーク三島
三島市芝本町 6-2 / 055-983-0136
↓ 移動
源兵衛川
川歩き・三島のまち歩き
16：30　現地解散

1980年代後半、富士山の豊富な清流を水源として静岡県・三島の街の中心を流れる全長1・5キロメートルの源兵衛川の再生が動き出した。暮らしのなかの川としての源兵衛川を取り戻す住民主体のとりくみは、昭和64年からの河川整備事業と、今もなおその保全活用を支える「グラウンドワーク三島」の設立につながった。この会では源兵衛川と三島の再生を体感するため、グラウンドワーク三島の渡辺氏とともに現地を訪ね、そのとりくみを支えてきたものを学びます。

案内人

渡辺豊博
グラウンドワーク三島
WATANABE Toyohiro

主催：川とまちを考える会 ｜ 協力：グラウンドワーク三島 ｜ 写真：田村将理 ｜ お問い合わせ（事務局）： masamichitamura@gmail.com

グラウンドワーク三島

合言葉は〈右手にスコップ・左手に缶ビール！〉
議論よりアクション、走りながら考える

三島市は「水の都」として知られ、富士山からの地下水が湧き出る湧水網都市である。しかし、昭和 30 年代初頭、上流地域での都市化・工業化の進展や生活環境の変化に伴い、市内最大の湧水河川である源兵衛川には、ゴミが捨てられ、生活雑排水も流入し、悪臭を放つ、醜く汚れた川になってしまった。1992 年 9 月「グラウンドワーク三島」が結成され、「水の都・三島」の水辺自然環境の再生・復活を目指す市民内発型の活動が開始された。グラウンドワークは、1980 年代の初頭に英国で始まった、市民・ＮＰＯ・企業・行政が協力しあい身近な環境改善活動に取り組む実践的な活動であり、それらの協働による環境活動を通して、持続可能な地域コミュニティを構築することを目的としている。現在、20 団体が加盟し、「三島梅花藻（バイカモ）の里の整備・保全事業」や「松毛川河畔の自然環境保全事業」など、70 のプロジェクトが地域住民やボランティアの協力の下に進行している。

グラウンドワークとは？

グラウンドワークとは、1980 年代に英国で始まった実践的な環境改善活動のことです。住民が行政や企業とパートナーシップをとりながら、地域の環境改善活動に乗り出します。その、三者の仲介役になるのが、トラストと呼ぶ専門組織です。特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島は、日本で最初に英国のグラウンドワーク手法を導入して、富士山からの湧水が減少して環境悪化が進行した「水の都・三島」の水辺自然環境の再生と改善を目的として、市内 8 つの市民団体が中心となり、三島市や企業の協力のもと、1992 年 9 月に事業をスタートし、1999 年 10 月 14 日に NPO 法人格を取得。現在では 20 の市民団体が関わっています。

上から、1950 年代の源兵衛川、環境汚染が進んだ 1980 年代の源兵衛川、清流の蘇った源兵衛川（2002 年 8 月）（写真提供：グラウンドワーク三島）

渡辺豊博
わたなべとよひろ

ニックネーム
「ジャンボさん」

特定非営利活動法人
グラウンドワーク三島

1950年秋田県生まれ。東京農工大を卒業後、静岡県庁に入庁し、農業基盤整備事業などを担当。1992 年グラウンドワーク三島の設立に当たって中心的役割を担い、現在も専務理事として精力的に活動する。2007 年農学博士号取得、2008 年から都留文科大学教授に就任し、「富士山学」などを開講。2016 年からは特任教授。グラウンドワーク三島専務理事・事務局長。源兵衛川の再生：土木学会デザイン賞 2004 最優秀賞。

川とまちを考える会について

この会は、2025 年 3 月 29 日の和泉川見学会（企画:よこはまかわを考える会）をきっかけに、河川を中心とした和泉川のまちづくりがいかにして実現されたかをふりかえるために結成されました。2025 年 6 月 1 日に開催された第一回「横浜・和泉川の〈川・まち計画〉」では、『和泉川環境整備基本計画（案）』(1987) に関わった吉村伸一（吉村伸一流域計画）・橋本忠美（農村・都市計画研究所）・奥村玄（GEN プランニング）の三者を招き、計画を導いた思想やその実現を支えた過程を分かちあいました。今回は源兵衛川を軸として「清流のまち」三島を復活させたグラウンドワーク三島の活動に触れ、川とまちをともに豊かにしていくための知恵を水系や流域を越えて分かち合い、実践的に継承することをめざします。

事務局・発起人：吉村伸一（座長）・石井秀幸・佐瀬優子・田村将理・森巌

参加に際して

- 現場では河川環境および周辺地域への配慮をおねがいします。
- 川に入りたい方はウォーターシューズ等各自準備してください。
- 開催記録のための写真・映像への写り込み、および事務局による二次利用にご同意ください。
- 昼食は集合前に各自済ませてください。